平成24年度一般会計予算に対する

各会派の総括意見

平成24年度一般会計予算に対する各会派の意見内容（要旨）を紹介します。なお、下表は予算案に対する会派の態度表明です。

○…賛成、×…反対

会　派	民主市民ネットワーク	自民クラブ	公明党	日本共産党	無会派
原　案	○	○	○	×	○

自民クラブ　賛成

将来に向け思い切った施策の転換と市民意識の変革が必要

平成24年度一般会計予算の原案に賛成する立場で意見を申し述べます。平成24年度の一般会計予算案は、市民の理解を得難い内容でした。しかし、今、未来に向けて様々な決断をしなければならない時期が到来しているのではないかと考えております。

以下、個別事業及びその他の事項について、意見及び要望を申し上げます。まず、歳入において、臨時財政対策債の借り入れには注意が必要であることを申し添えます。また、今後とも補助金獲得等の歳入増に向けた取り組みを期待します。

次に歳出です。本庁舎の耐震診断業務、住民基本台帳ネットワークシステム事務、発達支援センターの開設工事着手、日野わかば保育園建設等に伴う補助事業、生活保護費不正受給防止のための収入資産状況事業経費、東日本大震災の災害廃棄物受け入れのためのごみ処理、ファーマーズセンターの運営、工業みえる化推進事業の拡大支援、大坂上通り道路拡幅整備など様々な必要不可欠な事業が予算計上されていることを評価します。

冒頭で申し上げましたとおり、今回の予算案では市民要望が多種多様化する中、財源不足により事業化出来ないものがありました。しかし、この苦境を乗り切るために、必要最低限行わなければならない事業にのみ予算配分を行うことは致し方ないと思います。そして、将来に向け思い切った施策の転換と、低負担・高福祉は成り立たないという意識の変革が必要であると考えます。今こそピンチをチャンスとして捉え、将来に向け公民協働でまちづくりを行うべきなのです。以上、自民クラブの意見と致します。

民主市民ネットワーク　賛成

行政側にも市民側にも共に社会を作るメンバーシップを希求する

平成24年度一般会計予算に対し、原案賛成の立場で意見を申し上げます。「覚悟を、そして希望を～いつか思いは叶う～」というスローガンの下に編成された平成24年度一般会計予算は、厳しい財政運営を如実に表すものとなりました。

以下、個別事業について、意見等を申し述べます。まず、歳入不足の状況下、国庫支出金や都支出金などを再度精査していただきたいと思います。また、使用料・手数料のスピード感の有る適正な算定を求めます。

次に歳出です。主な項目として50年ビジョンプロジェクト、国体準備経費、本庁舎耐震化診断、発達支援センターの建設、肺炎球菌ワクチン接種などに関する予算が計上されており、積極的に推進していただきたいと思います。

なお、行財政改革と行政評価、市保有の公共用地の活用、投票区と期日前投票の見直し、自殺者対策、貧困問題への対応、がん検診受診率の向上、買い物弱者対策、防災力の向上、放射能教育や節電に関する意識改革などについて、今後、更なる努力・推進を期待します。

最後に、昨年の日経グローカル12月号において、日野市は全国自治体の経営革新度ランキング部門で第30位でした。このような高評価に一喜一憂する必要はありませんが、市と市民とのかかわり方の一つの指標になるものと思われます。厳しい財政状況下、市民サービスを「提供する側」と「提供を受ける側」という側面で議論する時では無いのです。一緒に社会を作るメンバーシップが行政にも市民にも求められているといえます。以上を申し上げ、民主市民ネットワークの意見と致します。

日本共産党　反対

市民犠牲の「自己責任論」と市民不在の「公民協働論」に異議有り

２０１２年度日野市一般会計予算案では、ひのっ子元気プール事業の廃止、修学旅行費補助の減額、がん検診の有料化、証保育園等保護者負担軽減補金の削減、特別支援学級における介助員の削減、子どもたち下校時安全確保のための見守隊委託事業廃止、全小・中学に対するエアコン設置事業の廃止、敬老大会の休止、敬老金の縮減、寝たきり看護手当の減額、カワセミ商品券補助金の全廃、中小企業融資に係わる預託金の引き上げなど、さまざまな事業の廃止や削減が提案されています。

しかし、市民の暮らしに密着した事業が大幅に削減される一方で、設計ミスを始めとし見積もりの甘さを露呈したプレ国体関連予算８千200万円が計上されました。また、市内に競技団体無いのに、ボクシングリングを購入するための予算500万円も計上されています。このように不必要なものを購入しようとする市の誤った姿勢を指摘させていただきます。

新年度は昭和50年代以降初めて、扶助費が市税収入を上回るものとされています。しかし、財政が厳しいという理由だけで、自己責任論を持ち出してしまえば、本当に困っている人を救うことは出来ません。市長は、日本共産党市議団の一般質問に対して「公民たるもの行政に頼るな！生活を見直せ！甘えるな！」と呼び掛けています。このような考え方では、市民の暮らしを支え、守る事は出来ません。よって、市民犠牲の「自己責任論」と市民不在の「公民協働論」を前提とした２０１２年度予算に反対である事を表明し、予算の組み替えを要求する会派の意見とさせていただきます。

公明党　賛成

持続的な行政運営のための大幅な事業の見直しを理解

平成24年度日野市一般会計予算の原案に賛成する立場から意見を申し上げます。本予算は、これまでの行政サービスの見直しや、事業の大幅な統合・廃止・削減を伴うものでした。若干考を要する点もありますが、おむね理解出来る内容であると思います。

以下、個別に評価します。区整理や道路整備、交通体系の備事業等の着実な推進、発達援センター建設工事の着手、齢者の肺炎球菌ワクチン接種用の一部助成制度、がん検診通年実施化、待機児対策としての保育園定員枠の拡充、特別護老人ホーム「シンフォニア」小規模多機能型居宅介護事業の開設、平山中学校における的障害者固定学級の新設など積極的な取り組みを評価します。

なお、子宮頸がん予防ワクチンの集団接種、大腸がん検診の無料クーポン事業化、都の補助事業を活用した地域包括ケアシステムの構築、スクールガードボランティア等保護者による子どもたちの下校時安全確保、防災備蓄の更なる充実、耐震診断・耐震改修工事助成制度の周知と拡大、特定緊急輸送道路沿いの建築物の耐震診断、女性の視点を取り入れた地域防災計画や避難所マニュアルの見直し、日野のまちづくりを問い直す50年ビジョンプロジェクトなどの検討・推進を期待します。

予算成立後の執行に当っては、より一層、市民の期待と負託に応えられるよう全力を尽くしていただきたいと考えます。また、今後、必要な行政サービスを提供するためには、市有地の売却や有効活用などを積極的に行っていただきたいと思います。以上、公明党の意見と致します。

各委員会の委員を選任

今定例会では、各委員会の委員が次のとおり選任されました。

（◎は委員長、○は副委員長）

《常任委員会》

企画総務委員会
◎古賀壮志
○大塚智和
中嶋良樹
中野昭人
梅田俊幸
秋山薫

市民文教委員会
◎窪田知子
○奥住匡人
鵜澤敏子
中谷好幸
池田利恵
菅原直志

健康福祉委員会
◎清水登志子
○佐藤洋二
大高哲史
馬場賢司
谷和彦
江口和雄

環境まちづくり委員会
◎峯岸弘行
○奥野倫子
西野正人
古池初美
田原茂

《議会運営委員会》
◎西野正人
○中嶋良樹
大高哲史
清水登志子
馬場賢司
窪田知子
谷和彦
菅原直志
（議長）秋山薫
（副議長）中野昭人

※この他に、議会運営委員会の委員により構成された「日野市議会改革等特別委員会」があります。

議会選出の委員と一部事務組合議会議員

今定例会において、次のとおり委員、一部事務組合議会議員が選出されました。

■日野市監査委員
梅田俊幸

■日野市農業委員会委員
谷和彦
古池初美

■東京都十一市競輪事業組合議会議員
田原茂
江口和雄

■東京都四市競艇事業組合議会議員
田原茂
江口和雄

■東京たま広域資源循環組合議会議員
菅原直志

■南多摩斎場組合議会議員
中谷好幸
池田利恵